

決				
裁				

平成 21 年度 個人年間研修計画表

四日市市立 △△ 小学校

名 前	四日市 入道	おもな分掌	児童会, 研修
		ステージ	基礎育成期(経験4年)

個人目標	子どもの気づきを生み出す授業づくりについての研修を深める
------	------------------------------

研修の分類	研 修 計 画	実 施	評価
校 外 研 修	教育支援課研修(連続講座) ○/△ B○○○ 学力向上授業づくり研修受講 (若手教員スキルアップ講座)	講師の△△先生から「若いというだけで子どもは喜ぶのだから、存分に発揮せよ」と言われ、元気が出た。一人ひとりを生かす指導案の書き方について研修を受けたので2学期に実践した。フォローアップ研修に向けた宿題にも取り組む。	4
	教育支援課連携研修 ○/△ B○○○ 学力向上授業づくり研修受講 (小ブロック研修 △△小学校授業研)	経験年数が同じくらいの先生の授業研を参観、教育アドバイザーの先生とともに授業づくりについて研修した。それぞれの悩みも出し合い、意見を交流することでヒントを得ることができた。	5
	□□教育研究協議会定例会 ○/△ 公開授業研修会(◇◇小学校)	授業の最初にミニワークを取入れていた。「東書問題データベース」を利用しているということなので、ぜひ活用したい。	4
	教育支援課研修 ○/△ B○○○ ICT活用研修会 (ICTを活用した授業づくり・小学校編)	デジタル教科書とインタラクティブユニットを用いた授業の展開について研修した。電子黒板はぜひ活用したい。	4
	県総合教育センター研修 ○/△ L○○ 魅力ある授業実践研修	都合により不参加。	1
校 内 研 修	光村デジタル教科書を活用した授業 (単元「一つの花」「ごんぎつね」で活用)	「一つの花」では、特にデジタル教科書の挿絵を利用してお父さんの気持ちや情景を考えさせることができた。	4
	先輩先生の授業を参観、指導をいただく(算数・図形の単元を中心に)	三角形の単元では、いろいろな三角形のモデルを準備し、仲間分けを通して子どもたちに角と辺の特徴を楽しく直感的に学ばせていた。身近な物体の「直角」をしめすことでより理解しやすい展開であった。	5
	学校づくり協力者会議への参加、委員の皆さんと学校教育についての懇談を持つ	委員の皆さんとの懇談の中で、地域の方の学校教育に対する熱い期待を感じるとともに、子どもの教育や子育てに対する視野の幅広さを学んだ。地域学習においては、子どもたちに、事実だけでなく地域の人たちのこのような思いにも気づかせるような取り組みを進めていきたい。	4
	校内研修のテーマ「学び合い」を実現するためのポイントを、学習形態の面から整理する	国語と算数を中心に指導案を作成しながら、学年部の先生とともに研修した。「学び合い」の場の設定や子どもの発言をつなぐ手法などについて学んだ。板書計画の重要性にも気づくことができた。	4
	「教育コーチング」「学級づくり」についての書籍を各1冊以上読む	「教師力を磨く」仲島正教著	2
成果と課題	子どもの気づきを生み出す授業づくりを目指して研修を進めてきたが、板書、教材づくり、教室経営、子どもへの言葉かけ(評価方法)など、授業の基本となる部分で多くの気づきがあった。校外研修で△△先生から指導案の大切さを学び、改めて自分の授業を見つめることができた。また単元構成から一時間の授業へと、見直しを持った授業案を作成し、実践できるようになった。校外研修での同世代の先生との交流や「若さを最大限に生かせ」という講師先生の励ましの言葉は、今後の力になったと思う。		4

*評価は、自己評価(A・B・C、5段階等)で表す。

資料No.6

決				
裁				

平成 年度 個人年間研修 中間振り返りシート
四日市市立

名 前		おもな分掌	
		ステージ	

1 個人目標と自己分析

個人目標		
年度当初の 自己分析	自分の強み (実践できていること、充実していること)	自分の弱み (課題・つけない力・実践したいこと)

2 自己評価

十分できた4 おおむねできた3 あまりできなかった2 できなかった1

① 自己分析の結果や個人目標をいつも意識できましたか	4	3	2	1
② 研修を受けるにあたり、目的意識を持ってのぞめましたか	4	3	2	1
③ 目標設定してのぞんだ研修は、自己の課題解決に役立ちましたか	4	3	2	1
④ 研修で得た知識や技能を、実践で生かそうと意識しましたか	4	3	2	1
⑤ 研修で得た知識や技能を、実践で活用することができましたか	4	3	2	1

3 実践報告と今後に向けて

実践とその活用	* 計画した研修を終えて、どのようなことをどのような場面で活用していますか。意識して取り組んでいること、または、具体的な内容や場面・方法等を書きましょう。 例：コーチングの「聞くスキル」を普段から意識している。生徒との教育相談の〇〇な場面で◇◇という風に使ったところ、△△な変化があった。
今後の計画	* 研修計画と実践を照らし合わせ、不十分な点を整理しましょう。そして、今後の研修予定、あるいは実践における活用計画を具体的に挙げてみましょう。 例：自分の弱みである「板書」についての研修ができていないので、公開授業週間を利用して多くの先生の板書を記録に取り、研究する。また、自分の授業を参観してもらい、板書についての助言をいただく。

決 裁				
--------	--	--	--	--

平成 年度 個人年間研修 振り返りシート
四日市市立

名 前		おもな分掌	
		ステージ	
個人目標			

1 自己分析と個人目標設定 十分できた4 おおむねできた3 あまりできなかった2 できなかった1

① 正確な自己分析ができましたか	4	3	2	1
② 自己分析結果を基に、適切な個人目標の設定ができましたか	4	3	2	1

2 研修の実践 十分できた4 おおむねできた3 あまりできなかった2 できなかった1

③ 研修を受けるにあたり、目的意識を持ってのぞめましたか	4	3	2	1
④ 目標設定してのぞんだ研修は、自己の課題解決に役立ちましたか	4	3	2	1
⑤ 研修で得た知識や技能を、実践で活用することができましたか	4	3	2	1

3 プログラムの評価 十分できた4 おおむねできた3 あまりできなかった2 できなかった1

⑥ 研修担当者や管理職から助言・支援を受けることができましたか	4	3	2	1
⑦ 職場の仲間同士で研修を深め合いましたか（同僚性）	4	3	2	1
⑧ 校内外研修と校外研修を関連させて、研修を推進できましたか	4	3	2	1

4 振り返りと次年度の展望 十分できた4 おおむねできた3 あまりできなかった2 できなかった1

⑨ 自身の変化等について、具体的に振り返ることができましたか	4	3	2	1
⑩ 次年度の目標等、具体的な展望が持てましたか	4	3	2	1

振り返り	個人研修を終えて、学んだことや実践に活用したこと、また、自分自身の変化等について、振り返りましょう。
------	--

次年度への展望	個人研修を振り返り、次年度への展望を書きましょう。
---------	---------------------------

5 総合評価 ①～⑩の評価点（4～1）を記入し、その合計点を総合評価欄に記入しましょう

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	総合評価

資料No.8 「四日市市立教育センター教職員研修基本方針」より

ライフステージ	教職員が身につけるべき資質・能力
<p>基礎育成期</p> <p>採用からおおむね 教職経験5年目(1 ～7年目, 20 歳代)</p>	<p>教職員としての構えをつくり, 短期間で学習指導, 生徒指導, 学級経営など教職一般について一通りの職務遂行能力を身につけるべき時期である。この時期の後半には, ある程度の経験を積んで自分の形がつけられ, 一部の学年・学校園全体の校務を任せられる時期である。ここでは, 学級担任, 教科担任としての基礎的な実践的指導力を中心に資質・能力の定着・向上を図る必要がある。</p> <p>養護教諭については, 心身の健康観察, 救急処置, 保健指導等児童生徒の健康保持増進が一通りできる基礎的な資質・能力の定着を図る必要がある。</p> <p>栄養教諭については, 児童に対する栄養指導が一通りできる基礎的な資質・能力の定着を図る必要がある。</p>
<p>発展・充実期</p> <p>おおむね教職経験 10 年目(8～14 年目, 30 歳代)</p>	<p>学級担任, 教科担任として相当の経験を積み, 学年・学校園全体をリードする校務も任せられる時期である。しかし, 時には独善に陥る場合もあるため, 自分の姿を広い視野から謙虚に振り返ることが求められる時期である。ここでは, 後輩の模範となるように, 学級・学年経営, 教科指導, 生徒指導の在り方に関して広く見据えた資質・能力の向上を図る必要がある。</p> <p>養護教諭については, 心身の健康観察, 救急処置, 保健指導等児童生徒の健康保持増進について効果的に指導できる資質・能力の向上を図る必要がある。</p> <p>栄養教諭については, 児童に対する栄養指導が効果的に実践できる資質・能力の向上を図る必要がある。</p>
<p>深化・成熟期</p> <p>おおむね教職経験 20 年目(15～25 年目, 40 歳代)</p>	<p>教職員として求められる多様な経験を十分に積み, すべての面で学校園の中心的存在として, 主任等の校務を果たしつつ, あらゆる校務を率先して進めていく時期である。</p> <p>ここでは, すべての面での一定以上の実践的な指導力の確立とともに, 自分の得意分野におけるより高い実践的指導力の向上をめざす必要がある。また, 校園内のリーダー的な役割を果たす教職員として基礎的なマネジメント能力の資質・能力の定着を図る必要がある。</p> <p>養護教諭については, 保健室経営の在り方, 学校保健の推進等について効果的に指導できる資質・能力の向上を図る必要がある。</p> <p>栄養教諭については, 食に関する指導が学校全体で相互に連携・協力して効果的に実践できる資質・能力の向上を図る必要がある。</p>
<p>円熟期</p> <p>おおむね教職経験 30 年目(26～38 年目, 50 歳代)</p>	<p>今までの経験を生かしながら主任等の校務も果たしつつ, 後輩教師の模範となり, 指導・助言することが求められる時期である。ここでは, いわゆるエキスパート教員として自分の専門分野におけるきわめて高い知識や技能, 実践的な指導力を後輩に伝えたり, 管理職として視野広く展望のあるビジョンと総合的な事務処理を推進するマネジメント能力をもとにした学校経営を行い保護者・地域から信頼される学校園づくりの先頭に立ってリーダーシップを発揮したりする必要がある。</p>

教師力向上サポートブック

発行 平成21年3月
発行所 四日市市教育委員会
四日市市諏訪町2番2号
電話 059(354)8149
FAX 059(359)0280



名前